【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成18年8月3日(2006.8.3)

【公表番号】特表2005-531220(P2005-531220A)
【公表日】平成17年10月13日(2005.10.13)
【年通号数】公開・登録公報2005-040
【出願番号】特願2004-516035(P2004-516035)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｑ　7/20　(2006.01)
Ｈ０４Ｌ　12/56　(2006.01)
Ｈ０４Ｑ　7/38　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｑ　7/04　Ｚ
Ｈ０４Ｌ　12/56　２３０Ｚ
Ｈ０４Ｂ　7/26　１０９Ｇ

【手続補正書】
【提出日】平成18年6月13日(2006.6.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
第１のデータ転送速度を有する第１の無線アクセス網と、前記第１のデータ転送速度よりも高速の第２のデータ転送速度を有する第２の無線アクセス網とを含む相互接続環境において移動端末へビデオ番組をダウンロードし表示する方法であって、
前記第１又は第２の無線アクセス網を通じて、前記ビデオ番組を第１及び第２のデータ転送速度で前記移動端末へ夫々ダウンロードし、前記ビデオ番組は前記移動端末が前記第２の無線アクセス網のカバレッジエリア内にあるときは前記第２のデータ転送速度でダウンロードされ、前記移動端末は前記ダウンロードされたビデオ番組を所定の再生速度で表示するために受信する、段階と、
前記ビデオ番組がダウンロードされる速度が前記所定の再生速度を超えたときに生ずる前記ダウンロードされたビデオ番組の過剰部分を前記移動端末によりバッファリングする段階と、
前記所定の再生速度、前記バッファリングされた過剰部分、及び前記ビデオ番組の残りの持続時間に応じて、前記第１のデータ転送速度よりも低い第３のデータ転送速度を前記移動端末により計算する段階と、
前記第１のデータ転送速度と前記第３のデータ転送速度の間の差が閾値水準を超えたときは、前記ビデオ番組をダウンロードするための前記第３のデータ転送速度について、前記移動端末により前記第１のアクセス網と交渉する段階とを有する、方法。
【請求項２】
前記第３のデータ転送速度は、
Ｒｐ－Ｂｔ／Ｔ
に等しく、但し、Ｒｐは所定の再生速度であり、Ｂｔは前記ダウンロードされたビデオ番組のバッファリングされた過剰部分の量であり、Ｔは再生されるべき前記ビデオ番組の残りの持続時間である、請求項１記載の方法。
【請求項３】

前記移動端末が前記第２の無線アクセス網のカバレッジエリアを出て、前記第１の無線アクセス網のカバレッジエリア内にあるとき、前記第１の無線アクセス網から前記第３のデータ転送速度を用いて前記ビデオ番組を前記移動端末へダウンロードすることを続ける段階を更に含む、請求項１記載の方法。
【請求項４】
前記交渉する段階は、前記移動端末が前記第２の無線アクセス網のカバレッジエリア内にあるときに行われる、請求項１記載の方法。
【請求項５】
前記交渉する段階は、前記移動端末が前記第２の無線アクセス網のカバレッジエリアを出た後に行われる、請求項１記載の方法。
【請求項６】
前記第１の無線アクセス網は３Ｇセルラー網である、請求項１記載の方法。
【請求項７】
前記第２の無線アクセス網は、無線ローカル・エリア・ネットワークである、請求項１記載の方法。
【請求項８】
第１のデータ転送速度を有する第１の無線アクセス網と、前記第１のデータ転送速度よりも高速の第２のデータ転送速度を有する第２の無線アクセス網とを含む相互接続環境においてビデオ番組をダウンロードし表示する移動端末であって、
前記第１又は第２の無線アクセス網を通じて、前記ビデオ番組を第１及び第２のデータ転送速度で夫々ダウンロードし、前記ビデオ番組は前記移動端末が前記第２の無線アクセス網のカバレッジエリア内にあるときは前記第２のデータ転送速度でダウンロードされる、受信器と、
前記第１又は第２の無線アクセス網へデータを送信する送信器と、
前記ダウンロードされたビデオ番組を所定の再生速度で表示するディスプレイと、
前記ビデオ番組がダウンロードされる速度が前記所定の再生速度を超えたときに生ずる前記ダウンロードされたビデオ番組の過剰部分をバッファリングするメモリ装置と、
前記所定の再生速度、前記バッファリングされた過剰部分、及び前記ビデオ番組の残りの持続時間に応じて、前記第１のデータ転送速度よりも低い第３のデータ転送速度を計算し、前記第１のデータ転送速度と前記第３のデータ転送速度の間の差が閾値水準を超えたときは、前記ビデオ番組をダウンロードするための前記第３のデータ転送速度を前記第１のアクセス網の交渉を制御するプロセッサとを有する、移動端末。
【請求項９】
前記第３のデータ転送速度は、
Ｒｐ－Ｂｔ／Ｔ
に等しく、但し、Ｒｐは所定の再生速度であり、Ｂｔは前記ダウンロードされたビデオ番組のバッファリングされた過剰部分の量であり、Ｔは再生されるべき前記ビデオ番組の残りの持続時間である、請求項１０記載の移動端末。
【請求項１０】
前記受信器は、前記移動端末が前記第２の無線アクセス網のカバレッジエリアを出て、前記第１の無線アクセス網のカバレッジエリア内にあるとき、前記第１の無線アクセス網から前記第３のデータ転送速度を用いて前記ビデオ番組をダウンロードすることを続ける、請求項１０記載の移動端末。
【請求項１１】
前記第３のデータ転送速度は、前記移動端末が前記第２の無線アクセス網のカバレッジエリア内にあるときに交渉される、請求項１０記載の移動端末。
【請求項１２】
前記第３のデータ転送速度は、前記移動端末が前記第２の無線アクセス網のカバレッジエリアを出た後に交渉される、請求項１０記載の移動端末。
【請求項１３】

前記第１の無線アクセス網は３Ｇセルラー網である、請求項１０記載の移動端末。
【請求項１４】
前記第２の無線アクセス網は、無線ローカル・エリア・ネットワークである、請求項１０記載の移動端末。